

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。
初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているといわれるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

出勤の途上のごとき案山子かな

東京都渋谷区 岩動 達

今月の短歌

茶道誌のクロスワードをついに解く
明るいうちにギターが弾ける

神奈川県横浜市 内田 しず江

季節は「案山子」。秋の稔った田圃に人の形をした物を立てて、鳥を脅かし、食害から稲を守る。近年は「案山子のコンクール」のようなものまであって、見る人を楽しませてくれる。お爺さんとお婆さんのコンビとか、家族の案山子など創意工夫を競ったりする。一句に登場する「案山子」は通勤途上のサラリーマンのような姿であったという。上下のスーツにネクタイをして手には鞆を持っていたりしたのであろう。野良着姿と一変した様子が人目を引いた、というのである。

(鳴立庵庵主 本井 英)

茶道専門誌に載っているクロスワードパズルは、茶道特有の用語や専門知識を知らなければなかなか解けないでしょう。「ついに」の語が、作者にとって難問だったこと、けれども途中で投げ出せず時間をかけて挑んでいることがわかります。解いている途中で息抜きにギターを弾くこともできたと思われませんが、ケリがつかなければ気持ちはどうもスッキリしないのです。意欲をかきたてるパズルやギターが身の回りにあり能動的な気持ちの弾みが、歌を明るく生き生きとさせています。

(西行祭選者 今井 恵子)

「めいど いん おおいそ」 登録産品紹介

問 大磯らしい潤いづくり協議会 (大磯町商工会)
☎ (61) 0871



【浜田畜産(株)】
問合せ先：(71) 0250



■ やきとり

【合柳嶋屋】
問合せ先：(61) 0149



■ 東海道 大磯宿

広報おおいそに広告募集中

- 掲載料 (1掲載あたり)
- 49mm×88mm
(1ページの10分の1) 13,000円
- 49mm×178mm
(1ページの10分の2) 26,000円

問・申 政策課 ☎内線257

※詳しくは町ホームページをご確認ください。

